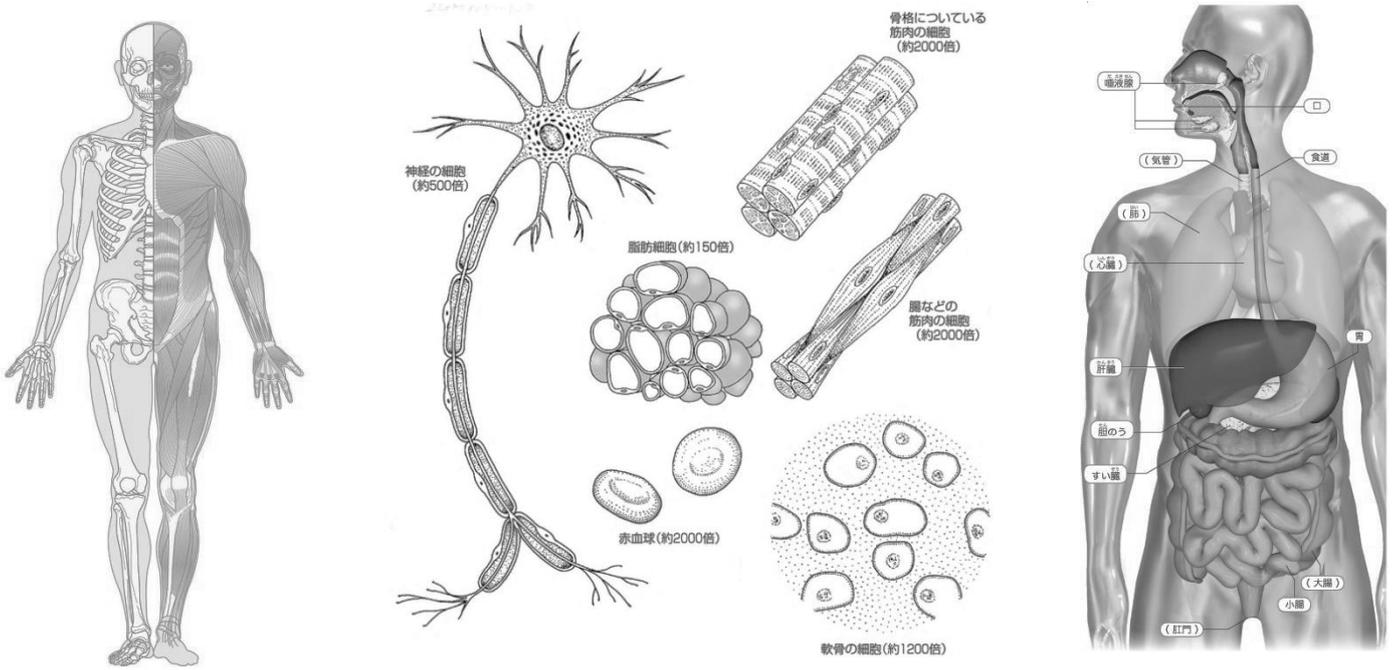


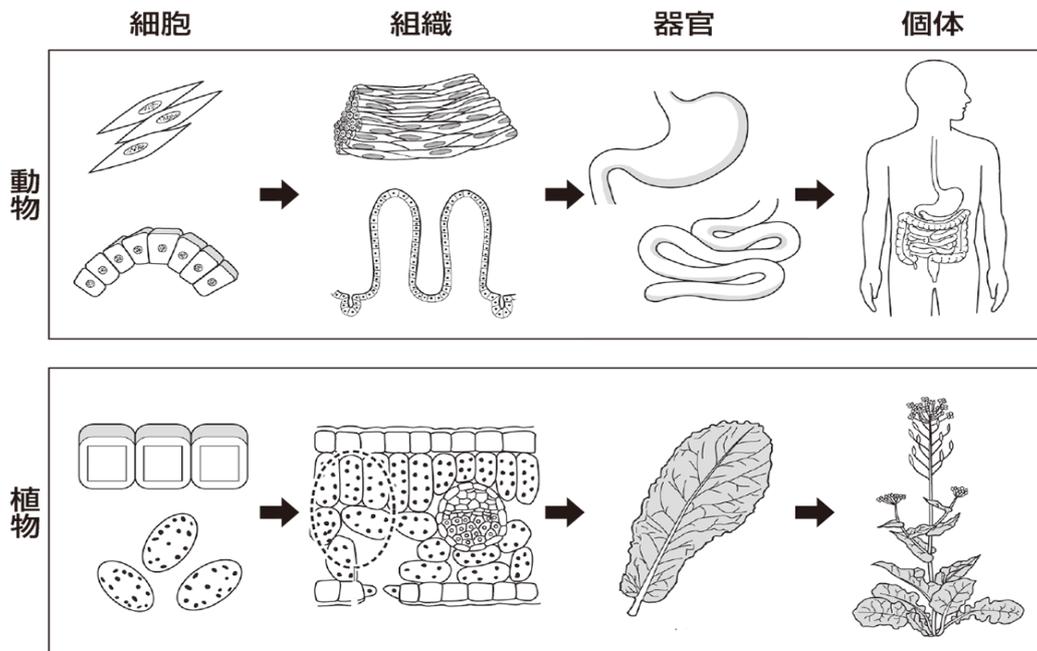
生物のからだをつくる細胞

動物は体のつくりや生活のしかたは植物とは大きく異なるが、その体は植物と同じようにたくさんの
 () が集まってできている。ヒトのからだの細胞はその数なんと () 個)



それぞれの細胞はそれぞれの役割を果たすため、いろいろなかたちとなって存在しているのである。

下の図のように動物も植物も、形やはたらきの同じ () が集まって
 () をつくり、組織がいくつか集まって () をつくり、
 器官がいくつかあつまって1つの () を形作っている。



覚え方
人体は 肉かん 組織 だ。
 (人体) > (器官) > (組織) > (細胞)

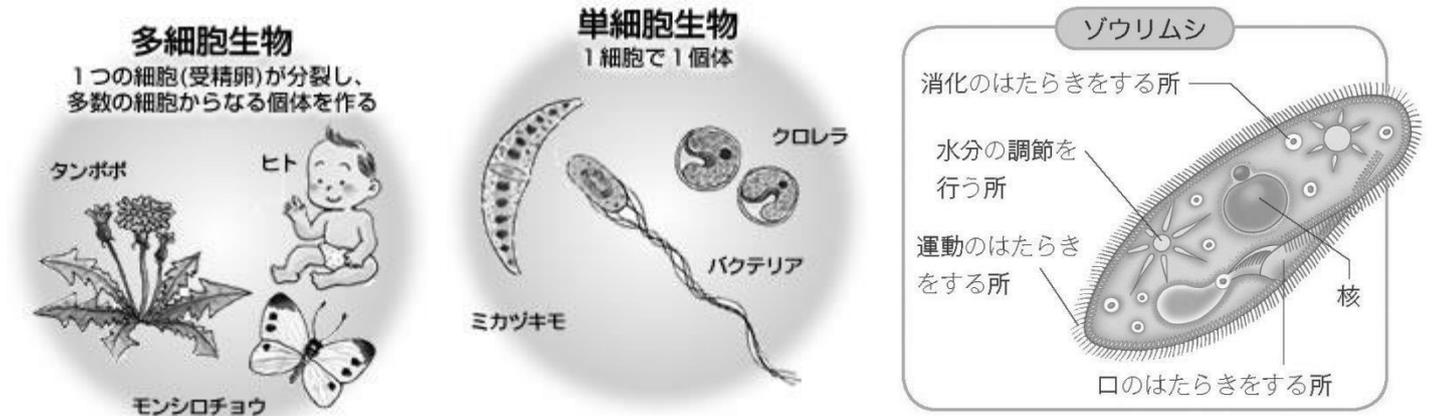
2年 組 番 氏名

単細胞生物と多細胞生物

多くの植物や動物の体はさまざまな種類の多くの細胞からできていて、() 生物) という。

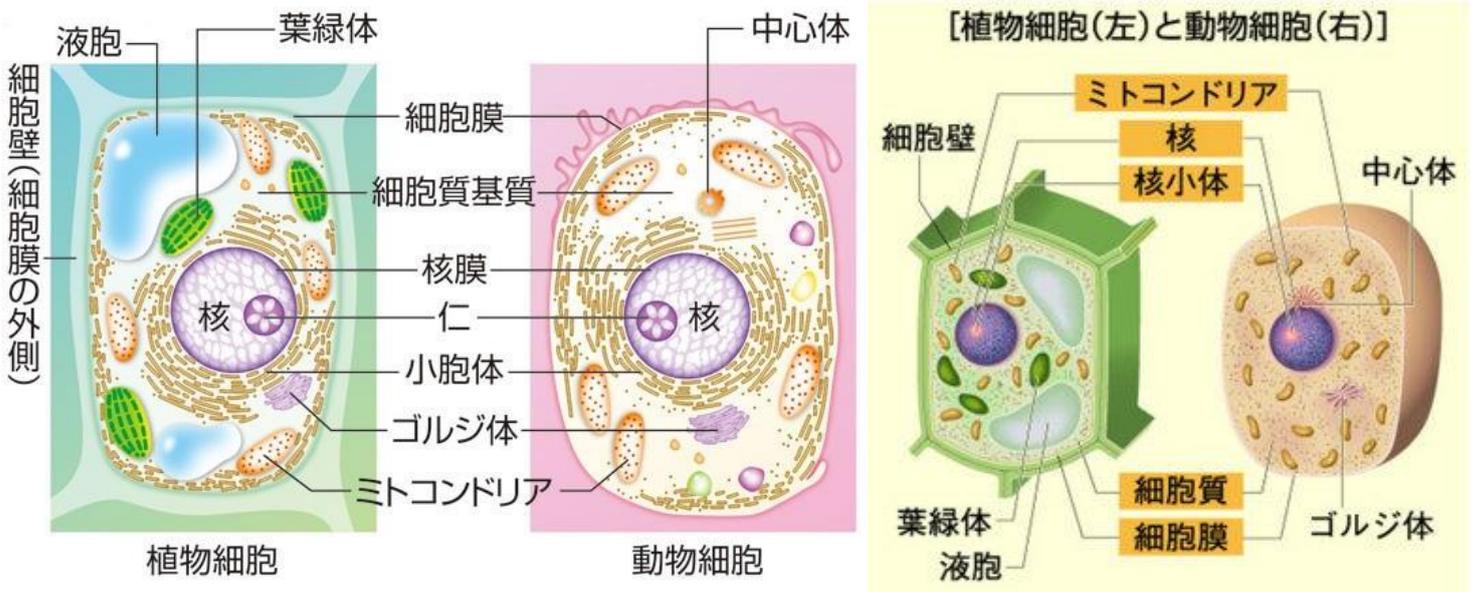
これに対して、ゾウリムシやアメーバは体が1つの細胞からできていて、() 生物) という。

単細胞生物は、運動も食べることも、不要なものの排出もすべて1つの細胞で行っている。



植物の細胞と動物の細胞のちがいについて

植物の細胞のつくりは動物の細胞とは形や大きさにちがいはあるが、以下のような共通点があることもわかる。



植物の細胞と動物の細胞の共通点

内部に()を1個もつ。核のまわりには()がある。
 細胞質のいちばん外側は()というすい膜になっている。
 核は()や()などの染色液によく染まる。

植物の細胞にだけ見られる特徴

- ① 細胞膜の外側にさらに厚くてじょうぶな()があり、植物の体をじょうぶにすることなどに役立っている。
- ② 葉や茎の緑色をした部分の細胞には()があり、ここで()が行われる。
- ③ また、細胞質には液胞をもつものが多い。